

第1小委員会(組織・財政)

中央本部出席者

白壁中央副執行委員長 川
端総務・財政・政策部長 石
田原組織・政治・福祉対策部
長 田中教育・情宣・国際部
長 大場組織・業務部次長

発言者氏名

金沢地本・中村委員
藤本委員
京都地本・若江谷委員 宇
加江委員 川村
委員 谷口委員
大阪地本・淵脇委員 椿野
委員 松波委員
高橋委員 内本

岡山地本・小橋委員 里永
委員 田中委員
米子地本・西口委員
三賀森委員
広島地本・松村委員 水本
委員 田村委員
長岡委員

発言要旨

●西バスでも離職が止まらない。
●JR西日本の魅力発信。
●福利厚生強化。
●入社してすぐに系統振分を
行う必要はあるのか。
●将来のキャリアステップ不安。
●離職防止対策は、できるもの
から早期の解決を。



挨拶をする寺井小委員長

●恵まれた福利厚生制度の活
用を。
●他産別や他地本での女性役
員育成の好事例を共有する仕
組み。

●西バス、中バス合同で女性意
見交換会を続けていくべき。
●加入説明のアプローチの方法
について。
●共済関係の加入の取り組みに
苦慮。説明資料の作成を。
●共済の推進は組織強化に繋が
る世話役活動である。
●青年女性委員会の年齢制限
や人数減少に伴い、これからの分
会のあり方を検討していくべき。
●他の地本も抱き込んで活動す
るなど、他の目線で活動を考え
ていく。
●コアな内容のレクと、参加型の
レクの進め方の違いを教えた
きたい。
●ローカル線問題では、地方議
員との連携が必要。
●広島鉄道病院では、柿本議員
との情報共有。
●統一地方選挙を闘って。難し



さとやりがいを感じた。
●組合員の組合離れに懸念。
●組織の拡大より組織の充実が
課題である。

●組合に対する愛着の低さ。
●コロナ禍入社社員のフロー体
制について。
●若い世代への西労組の取り組

みアピールを。
●敦賀延伸後の組織のあり方に
ついて。
●組合費の明細内訳の表示を。
●組合費の支出内容について。
●中央本部大会の二泊二日開催
について。
●情宣のデジタル化でコスト削減
できるのでは。
●組合員がアクセスできる掲示
板などの検討を行えないのか。
●議案書のデジタル化。
●会社とのデータ連携。
●役員基礎コースのアップデート
の検討は。
●JR広島病院の統合は組合
にすることを目指したい。
●職場討議資料に「育児中
であつても、組合活動に気軽
に参画できる環境の整備」と
謳っているが、ハイブリッドや
短時間での開催、子供も一緒
に会議に参加できるなど、参
画しやすい環境づくりに取り
組んでいる。会議の招集書面
に終わる時刻を明記するな
どもしており、両立し易い組
合活動にしていきたい。

組織・財政のあり方を一年かけて議論していく

川端総務・財政・政策部長

◆組合費については、年間約
2,400万円の減収となる
ため、引き続き経費節減に努
める。JR西労組の組織・財政
のあり方については、今後、二
年間かけて、組織・財政検討委
員会で議論していく。様々な
ご意見をいただきたい。あわ

工務系女性組合員の 職場環境の整備

大場組織・業務部次長

◆車両・施設・電気系統の女
性組合員の職場環境の整備
について、会社と議論してい
く。
◆地上職の待遇改善につい
て、深夜勤務手当、災害等勤

課題は「組織の充実」

石田原組織・政治・福祉対策部長

◆組合活動について、コロナ禍
前の活動に基本的には戻してい
くが、コロナ禍で学んだリモー
トの活用なども取り入れつつ柔
軟に対応していただきたい。
◆脱退についてなぜ脱退す
るのかを脱退する方に聞くこ
とが大事である。その声に対
して、我々として反省すべき事
柄は反省し、改善すべき事
柄は改善していくことが、今
後の脱退者を出さないために
必要である。

て、各地本・総支部が大変ご
苦勞されていることは理解し
ている。中央本部として何が
できるのが検討もするが、各
地本・総支部からのご提起も
願いたい。
◆共済移転の取り組み内容
について、各地本・総支部と議
論した結果、手渡し回収とさ
せていただいたことをご理解
いただきたい。また、組織運動
的に取り組みを進めてきたこ
ともお伝えしておく。各地本・
総支部の状況で手渡しでき
ない組合員には郵送するな
ど柔軟に対応していただき感
謝申し上げる。今後は推進委
員会などの会議で共済の取
り組み内容を提起させていた
だく。
◆青年女性委員会の活動に
ついて時代にあった年齢構成
であるべきであり、青年女性
委員会で協議いただきたい。
◆契約社員・パートの社員運用につ
いて、採用区分や運用も含めて
提起している。
◆組織の充実・強化・拡大につ
いて、以前は「組織の拡大」を

誰もが気兼ねなく 思いを言えるのが労働組合

田中教育・情宣・国際部長

◆情宣のデジタル化について、
賃金実態調査によると、組合
員の情報収集は、掲示板が圧
倒的に多く、掲示板も有効な
情報ツールと考える。
◆組合活動の見える化」が
できていないから、インスタに
すべきだというのは、意見と
しては向うが、機関紙の発行
は大切な運動の一つと認識し
ている。分会に一枚でも貼つ
ていただけるとありがたい。

イラストユニオンは金沢地本
と連携し、支援していく。
◆JR広島病院の統合につ
いて、前広な情報開示に努め
るとともに課題については広島
地本と連携し対応をしてい
く。

組合に対する愛着の低さ。

「業速」を貼ることも重要
だと思ふ。また、春闘交結直
後、ある分会では、手書きの
「春闘何ヶ月」と掲示責任者
名だけ書いて貼っていたとい
う。そういう掲示こそインパ
クトがある。そんな掲示板の
使い方をしていただけだと
思う。
◆女性の働き方について、去
年の労働協約でも、かなり前
進することができた。育児と

両立しながらキャリアアップ
と連携し、支援していく。
◆JR広島病院の統合につ
いて、前広な情報開示に努め
るとともに課題については広島
地本と連携し対応をしてい
く。

エリアや職場単位で できることも沢山ある

沖田青年女性委員長

◆バス地本の女性組合員との
意見交換会は、ほんとうに盛
り上がった。意見交換の場を
設ければ、思いや意見を言え
る女性がたくさんいるという
ことがわかった。今後も引き
続き様々な声を集めたい。
◆女性ネットワーク委員会も
含め、本部が主催する女性に
まつわる行事については、女性
役員の更なる意識向上やスキ
ルアップを目指していきたい。
今回、あえて対面の開催とし
たのも、顔を合わせて話を
することで双方のコミュニ
ケーションを取ってもらいた
いと考えているからであるが、
ハイブリッド開催という意
見があったので、今後そう
いうことも考えていきたい。
◆多くの女性の方が組合に距離
感を持たず入ってもらう、話

内容によって リモートか対面を検討

小西池組織・業務部次長

◆育児休職中でも、男女関係
なく、役員の方に、声かけし
て、考える必要があると考える。